



-令和2年3月6日撮影-

慈光のもと、御門徒各位におかれましては春日頃より宗門護持、寺門興隆そして無為信寺本堂屋根改修工事事業に対してご理解とご協力を頂いておりますことを厚く御礼申し上げます。

このたび改修工事が本格的に開始されましたので、工事の進捗等を皆様にお知らせする寺報「み光のもと」を定期的に発行する運びとなりました。

無為信寺が現在の地に再建されたのは江戸時代の1760年(宝暦10年)であり、今年で260年になります。その歴史を刻む中において「こころの拠り所」である大切なご本尊と仏教の教えを学ぶ「聞法の道場」として無為信寺の本堂を私たちの

# いよいよ本堂屋根改修工事はじまる



無為信寺本堂改修工事事業通信

## み光のもと



無為信寺

令和2年4月1日発行

先人は力を尽くして護持し続けてくださいました。その多くの人々のご恩に報いるためにも改めてこの事業の歴史的意義の重さを深く感じております。

**工事の進捗状況について**

▼まず最初の作業として2月12日に寺院仏具専門の業者よりご本尊を庫裡に移動し、仮の御堂としてご安置いたしました。

春日頃、ご本尊を至近距離で詳細に拝観できることはありません。「無為信寺のご本尊は大きい。」とよく言われます。確かに他の真宗寺院よりも随分サイズは大振りです。そして何より阿弥陀様のお顔立ちがとても「端正」「美しい」のです。いままで他の真宗寺院のご本尊を数十カ寺拝観しておりますが、無為信寺のご本尊の素晴らしさをあらためて再認識いたしました。

この本尊はご門徒である清水家のご先祖が、京都から越後の無為信寺まで背中に背負いながら徒歩で無為信寺に運ばれたものと聞き及んでいます。是非皆様からも間近にご



本尊を参拝して頂ける特別な機会であるとおもいます。

▼3月に入りまして本格的に屋根の工事を開始しています。最初に境内地の参道に工事車両往來の為、大型の鉄板を敷き詰めました。その後仮設の足場組みがはじまり、すっぽりと本堂を取り囲みました。仮設工事の職人さんが屋根の上で働いている姿を見ているだけでも足のすくむ高さですが、軽々と働く職人を見ていると工事が大きく前進していることを実感させられます。これから現在葺かれている瓦、約2万枚をすべて降ろし、屋根の下の修理などを行い、下葺きして新しい瓦を上げることになります。



瓦のサイズは一般的に使われている瓦のサイズになりますが、いままで使用されている大判のものよりは屋根の曲線がきれいに出るとの事です。また、新しい瓦の葺き替えにより約6トン程度、屋根の軽量化を図れますので本堂の耐震性が増します。

▼今年8月のお盆までには、本堂の皆様が参りできますように、工事日程を計画しております。また、墓への墓参などにつきまして各工事業者より安全には充分配慮してまいりたいと存じます。工事期間中みなさまにご不便をおかけいたしますが本事業に対して更なるご理解と協力をこのようにお願い申し上げます。



# 改修工事会社のご紹介

株式会社ライズビルド  
代表取締役 上松昭浩



この度、歴史的・文化的評価の高い無為信寺の本堂屋根改修工事を拝命致しましたことにもまずもって感謝と御礼を申し上げます。現在の本堂が昭和10年に上棟されてから85年もの歳月が経過し、近年屋根瓦の劣化がひどくなり今回の改修工事に至りました。この工事に対する住職並びに関係者の熱い想いを受け、弊社が持つ技術と工事に関わる職人の匠の技を最大限に引き出し、この令和の大改修を何としても成功させるべく精一杯尽力することをお誓い申し上げます。

株式会社岩村セラミック  
代表取締役 岩村陽樹



弊社は創業以来、神社仏閣・公共物件・一戸建て住宅などの屋根工事を専門とし、現在では外壁・樋工事などお客様のニーズに沿った施工を技術力、施工力に絶対の自信をもって、工事を致しております。

安田瓦販売株式会社  
代表 山口将和



この度、無為信寺様本堂屋根瓦の施工をさせて頂く、安田瓦販売(株)の山口将和です。弊社は昭和五六年創業以来、屋根瓦工事専門で営んでおります。主な社寺・大型施工物件は、念佛寺様・西厳寺様(新潟市)陸上自衛隊新発田駐屯地広報館(旧白壁兵舎)等、様々な社寺現場で実績を積んでおります。工事中は、無為信寺様はじめ檀家の皆様には、ご迷惑をお掛けすると思いますが、安全第一に全力で工事に取り組みまいります。よろしくお願ひ致します。

- |       |       |       |       |       |       |      |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 今井秀一  | 柄澤静則  | 齋藤康夫  | 白木利子  | 谷川克典  | 橋本良策  | 山崎重雄 |
| 岩村真樹  | 柄澤清司  | 佐伯恒雄  | 白根新一  | 谷川清   | 長谷川信夫 | 山崎春雄 |
| 梅田勲   | 柄澤仲一  | 酒井和夫  | 白根富夫  | 玉木一春  | 坂内四郎  | 山崎正男 |
| 江口信博  | 柄澤十四樹 | 坂井健一  | 新保寿秀  | 田村ヒデ  | 坂内四郎  | 山崎芳一 |
| 遠藤莞爾  | 柄澤れい子 | 坂井繁夫  | 鈴木十輔  | 土田暢也  | 廣川清   | 横山妙子 |
| 遠藤順子  | 川上聡   | 酒井新一郎 | 鈴木英司  | 土田雅男  | 深町美代子 | 吉井正  |
| 遠藤敏喜  | 河上誠治  | 坂詰ミノ子 | 鈴木八重子 | 土屋正三  | 福井光雄  | 吉井信雄 |
| 遠藤久   | 岸本一雄  | 坂詰ミノ子 | 関隆子   | 鶴巻義昭  | 藤井和利  | 吉田功  |
| 遠藤斉   | 北上勝子  | 坂詰ミノ子 | 関川文一  | 寺田千秋  | 藤野秀明  | 吉田一男 |
| 遠藤ユキ  | 北上敏秀  | 坂詰ミノ子 | 関川文一  | 東條光一  | 藤野崇   | 吉田健一 |
| 大島一男  | 北上昭   | 坂詰ミノ子 | 相馬隆   | 土橋千枝子 | 星野正吾  | 吉田匡  |
| 大島浩夫  | 木間卓央  | 坂詰ミノ子 | 曾我明   | 土橋正幸  | 細山すみ子 | 吉原榮一 |
| 大滝いち子 | 久保田章夫 | 佐藤イチ子 | 曾我博   | 豊島利弘  | 細山すみ子 | 吉原悟  |
| 大野悦子  | 久保田富夫 | 佐藤一六  | 曾我博道  | 長川利雄  | 堀川正美  | 吉原輝雄 |
| 大野信子  | 栗原石造  | 佐藤勝栄  | 曾我藤雄  | 長川敏和  | 前田正蔵  | 吉村隆  |
| 小川恵美子 | 小泉陽一  | 佐藤光衛  | 曾我二雄  | 長川正春  | 前田政子  | 吉村英彦 |
| 小川和夫  | 小嶋智子  | 佐藤スミエ | 曾我一貴  | 中澤直彌  | 前田雅之  | 吉村康  |
| 小川欣也  | 小太刀隆寛 | 佐藤スミエ | 高木一貴  | 長瀬勝男  | 松島愛子  | 渡邊明人 |
| 小川准一  | 西野太鼓店 | 佐藤武明  | 高野幸子  | 長瀬勝男  | 丸山和子  | 渡邊和俊 |
| 尾崎綾子  | 古西明   | 佐藤武明  | 高野幸子  | 長瀬勝男  | 丸山和子  | 渡邊和俊 |
| 尾崎喜悦郎 | 小林修司  | 佐藤哲郎  | 高野幸子  | 長瀬勝男  | 丸山和子  | 渡邊和俊 |
| 風岡隼久夫 | 小林修司  | 佐藤哲郎  | 高野幸子  | 長瀬勝男  | 丸山和子  | 渡邊和俊 |
| 風岡森衛  | 小林修司  | 佐藤哲郎  | 高野幸子  | 長瀬勝男  | 丸山和子  | 渡邊和俊 |
| 片桐一子  | 小林修司  | 佐藤哲郎  | 高野幸子  | 長瀬勝男  | 丸山和子  | 渡邊和俊 |
| 加藤カツミ | 小林修司  | 佐藤哲郎  | 高野幸子  | 長瀬勝男  | 丸山和子  | 渡邊和俊 |
| 加藤正夫  | 小林修司  | 佐藤哲郎  | 高野幸子  | 長瀬勝男  | 丸山和子  | 渡邊和俊 |
| 加藤正弘  | 小林修司  | 佐藤哲郎  | 高野幸子  | 長瀬勝男  | 丸山和子  | 渡邊和俊 |
| 加藤良男  | 小林修司  | 佐藤哲郎  | 高野幸子  | 長瀬勝男  | 丸山和子  | 渡邊和俊 |
| 加藤れい子 | 小林修司  | 佐藤哲郎  | 高野幸子  | 長瀬勝男  | 丸山和子  | 渡邊和俊 |
| 金島孝勝  | 小林修司  | 佐藤哲郎  | 高野幸子  | 長瀬勝男  | 丸山和子  | 渡邊和俊 |
| 兼田主計  | 小林修司  | 佐藤哲郎  | 高野幸子  | 長瀬勝男  | 丸山和子  | 渡邊和俊 |
| 金巻啓司郎 | 小林修司  | 佐藤哲郎  | 高野幸子  | 長瀬勝男  | 丸山和子  | 渡邊和俊 |
| 蒲澤壽子  | 小林修司  | 佐藤哲郎  | 高野幸子  | 長瀬勝男  | 丸山和子  | 渡邊和俊 |

## 第一期事業年度 御志納状況報告

2019年より2020年1月31日までの御志納状況につきましてご報告させていただきます。

引き続き、御志納金を随時受付しておりますのでご協力をお願い申し上げます。尚、去る令和2年2月8日に無為信寺庫裡におきまして第一回特別会計中間監査会を実施いたしましたので重ねてご報告いたします。

**特別会計監査委員会**

監事 柄澤 仲一 海津 喜悦郎

特別会計 小林 修司 五十嵐 宏

財務部会部長 長谷部 昭一

住職 武田 真

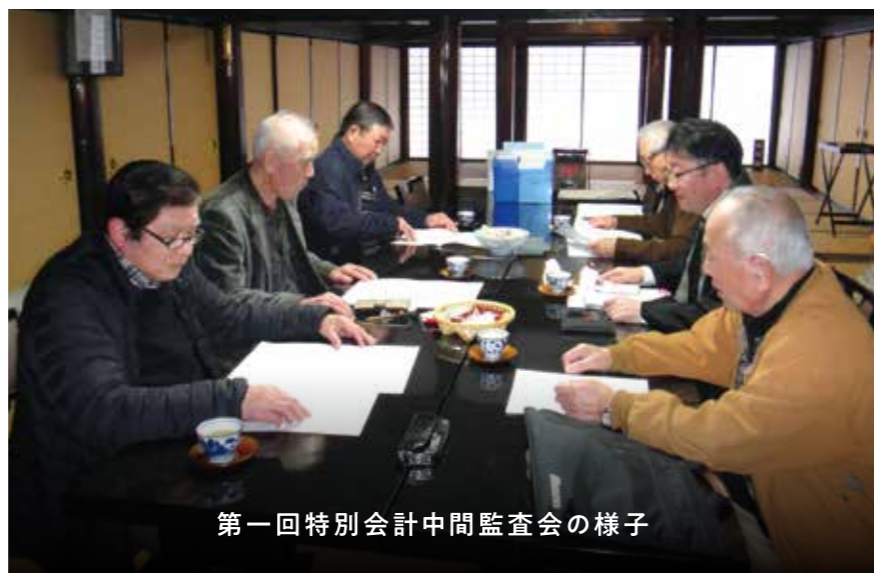
私たち監事は、通帳、領収書など関係書類を確認した結果、適正に処理されておりましたのでここに報告いたします。 令和2年2月8日

令和2年1月31日時点 達成率 **84.52%**

御志納入金済総額 **44,800,000円**  
(目標総額53,000,000円)

## 第二回御志納完納者 御芳名披露

- 令和2年1月31日現在の完納済者の方を掲載しております
- |        |        |
|--------|--------|
| 百萬圓    | 阿部 銳   |
| 大竹喜代子  | 武石 恵   |
| 橋本芳栄   | 阿部八重子  |
| 伍拾萬圓   | 阿部 耕一  |
| 橋本勇一   | 阿部 竹行  |
| 参拾萬圓   | 阿部 俊幸  |
| 今井文字   | 五十嵐 啓治 |
| 上田 順   | 五十嵐 昭作 |
| 佐藤 一子  | 五十嵐 昇平 |
| 星 巨    | 五十嵐 宏  |
| 白井秀利   | 五十嵐 雄介 |
| 丸山正孝   | 石川 孝司  |
| 丸山久美   | 市川 一裕  |
| 山崎 祐宏  | 市川 昭英  |
| 式拾萬圓   | 出原 春江  |
| 柄澤 錦吾  | 伊東 厚   |
| 高橋 功   | 伊藤 清逸  |
| 中村 茂   | 伊藤 輝男  |
| 長谷川 政也 | 伊藤 浩   |
| 長谷部 昭一 | 伊藤 三男  |
| 星野 泰敏  | 伊藤 幸雄  |
| 丸山 堅治  | 稲村 健一  |
| 山岸 勲   | 稲村 健太郎 |
| 渡邊 徳栄  | 稲村 孝司  |
| 拾伍萬圓   | 稲村 正明  |
| 相沢 勝   | 井上 功   |
| 青木 市雄  | 猪俣 三枝子 |
| 姉崎 正治  | 今井 マリ子 |



第一回特別会計中間監査会の様子



本掲載にあたり  
○敬称を省略させて頂きましたことを御了承ください。  
○均等割御志納者等におかれましては完納終了後に順次ご披露させて頂きます。  
○物故者のお名前がござりますが、完納時の御志納者を記載させて頂きました。  
○お名前に誤字脱字等なごさいましたら寺までご連絡ください。



日本画家の巨匠 はたなか こうきょう 畠中光享画伯が  
びょうどうさんげ  
廟堂散華の原画を制作



畠中光享画伯 京都のアトリエにて

このたび令和3年に  
厳修される法要の廟  
堂散華(びょうどうさ  
んげ)に使用する「葩  
(はなびら)」の原画  
を日本画家の巨匠  
畠中光享画伯より作  
製頂くことになりま  
した。去る2月18日  
に京都のアトリエに  
お伺いさせて頂き、  
この度の本堂改修工

事の概要と法要につ  
いてご説明申し上げ、  
この記念すべき法要  
にご協力いただける  
との快諾を得ること  
ができました。先生  
とは平成26年4月に  
新潟県立歴史博物館  
で開催された特別展  
「親鸞となむの大  
地」の折、無為信寺  
にご夫婦でご参詣頂

いたことがご縁で今  
日まで続いておりま  
した。

畠中画伯自身も真宗  
大谷派の僧侶でもあ  
りますが、長きにわ  
たり京都造形芸術大  
学教授や大谷大学講  
師として学生の美術  
指導に当たられ、全  
国の美術館及び百貨  
店、新潟では過去4  
回新津美術館で画伯  
の特別展が開催され  
た実績があり、現在  
は日本におけるイン  
ド美術研究者の第一  
人者でいらっしゃる  
ます。また、過去作  
製された作品は数多  
の受賞歴があること  
はもちろん、インド  
の貴重な細密画や染  
織品のコレクターと  
しても知られ、近年  
は著名な日本画家  
中島千波、中野嘉之と  
共にこれからの時代  
を担う若手日本画家  
の活躍の場「アー  
ティストグループ  
風」を運営しておら

れます。  
このたび使用される  
「葩」のデザインに  
ついては瓢湖の蓮の  
花、小島の八房の梅、  
数珠掛桜が候補と  
なっております。も  
ちろん法要記念品と  
致しまして無為信寺  
門徒の皆様はこの葩  
をお渡し致します。  
ご期待ください。

畠中光享氏 略歴

1947年 奈良に生まれる  
大谷大学文学部卒業  
京都市立芸術大学専攻科修了  
元京都造形芸術大学教授

- 1977年 第21回シェル美術賞受賞
- 1978年 第1回東京セントラル美術館 日本画大賞受賞
- 1984年 グループ「横の会」を結成
- 1985年 欧米巡回「現代日本画展」(ロンドン・バービカンセンター他)
- 1986年 白黒展—平松礼二、畠中光享、中野嘉之  
(東京セントラルアネックス)
- 1987年 第5回京都府文化賞新人賞
- 1991年 ときめきの詩 畠中光享日本画展(有楽町アート・フォーラム)
- 1992年 バルセロナ日本画美術展
- 1997年 畠中光享展(大和高田市制50年記念)
- 1998年 桜を描く近代日本画名作展(丸大ミュージアム/東京)
- 2000年 畠中光享の美意識 近作仏伝絵画とインド美術コレクション  
(おぶせミュージアム中島千波館、平野美術館)
- 2002年 第1回東山魁夷日経日本画大賞受賞(ニューオオタニ美術館)
- 2004年 京都府文化賞功労賞受賞
- 2009年 アジアの精神 私のこころ 畠中光享展  
(国立アダムソン・エリック美術館ほか)
- 2011年 現代の日本画 中島千波・畠中光享展
- 2012年 Artist Group風結成
- 2013年 「日本画の現在 20年後の横の会」展(新潟市新津美術館)
- 2014年 リニューアル記念特別展ねこ・猫・ネコ展(渋谷区立松濤美術館)
- 2018年 興福寺中金堂「法相柱」の人物画14名を作製
- 2019年 本山東本願寺に門首・鍵役が出仕前に控える  
「御休息所」の襖絵11種を設置



畠中氏作品「散華」



無為信寺

佛性山 金剛院 無為信寺  
新潟県阿賀野市下条町8-21  
電話番号: 0250-62-2676  
Fax番号: 0250-63-2420  
Website: muishinji.com